

発行所
青森県高等学校・障害児
学校教職員組合
青森市橋本1丁目2-25
教育会館 017(734)7287
編集発行人 田村儀剛
購読料一部20円は組合費
の中に含む

●署名活動にご協力を!
「給与構造の見直し」が行
われようとしています。私
たちの生活を守るため、署
名にご協力ください。

Eメール aokokyos@olive.ocn.ne.jp ホームページ http://www.geocities.jp/aokokyoso/ ブログ http://plaza.rakuten.co.jp/sannkyoso05/

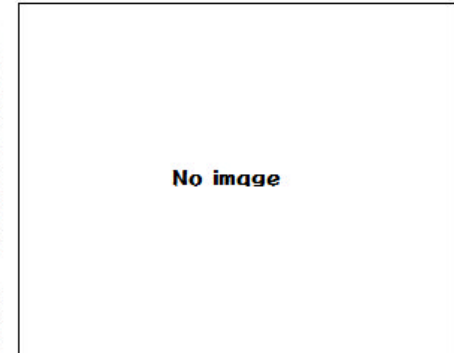
子どもの将来を見据えた修学保障制度の実現を!

教組共闘北海道・東北プロダク修学・就職保障要請キャラバン

7月27日の北海道集会を皮切りに、7月30日の宮城県要請まで12年目となる北海道・東北キャラバンが1道6県を回りました。青森県では7月28日に要請行動が行われました。

No image

日本の子どもの貧困率が、2012年時点で16.3%と過去最悪を記録したことが7月15日厚生労働省の調査でわかりました。子どもの貧困率とは、平均的な所得の半分を下回る世帯で暮らす18歳未満の子どもの割合を示します。日本の子どものおおよそ6人に1人、300万人以上が年収122万円に届かない



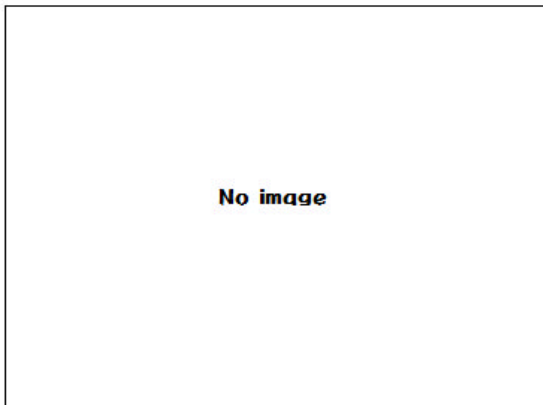
世帯で暮らしていることになり、世代間で連鎖される貧困問題。貧困を連鎖させないためにも、学校でかかる諸経費の支援のために給付型奨学金の拡充を訴えました。私たちは、高校や大学

進学をあきらめるなど、子どもの将来が経済的理由で決められてはならないと考えます。また、奨学金を借りた学生が就職するとき、多額の借金を背負っている問題もあります。一定水準の収入を得られるまで、返済を猶予する制度の確立も必要です。

28日の青森県要請では、

県側は鈴木労政・能力開発課長、県教委は田村教職員課長が対応しました。新しい国の制度による「青森県公立学校奨学のための給付金」については、これから学校に文書を送り周知していくと答えたに留まりました。制度が後退した「高等学校等支援金」制度は、申請者の割合が86%とのことでした。申請しなかつた(できなかった)家庭の中にも支援が必要

な生徒がいる現実を訴えました。また、障害者法定雇用率について尋ねると、



No image

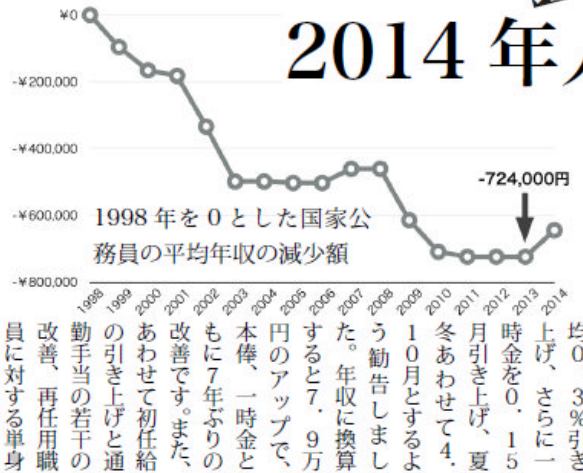
知事部局はクリアしていません。しかし、県教委は採用努力を続けているものの基準を大きく下回っています。要請時間が30分とあまりにも短かったことが残念です。他県では60分以上の要請時間をとっています。ぜひ青森県でも次年度は要請の時間を増やし、修学・就職問題についてさらに建設的な話し合いにしたいと感じました。

修学保障問題について討論した青森県集会。

坂道の風

▼2020年のオリンピックピックなのか、政府の政策なのか、世の中は好景気の空気が漂っている様子であるが、青森県ではまだ実感がなく様子である。主な産業である「農業」が盛り上がりつつある。▼実際の、担任をつとめていると、リンゴ、米などが豊作になると、不思議と進学を目指す傾向がある。専門高校としては、就職、進学において、どちらも選択肢は抱負であると感じる。その専門分野にもよるが、好景気であれば求人も増える。そうでなければ、逆である。進路指導の難しいところである。今年度実施する修学旅行で「工場見学」を実施するのだが、日本のものづくりの技術を感じてもらいたいものである。どれだけ体感できるかは、事前指導が重要である。▼未来の日本を担う人材にどのような教材を提供したらよいかを考え、判断力やそれを受け止める感性を持てるよう、教育活動をしていきたい。興味・関心から夢や目標が生まれてくるのだから。(goon)

地方の賃金を来年から2%引き下げ 2014年人事院勧告



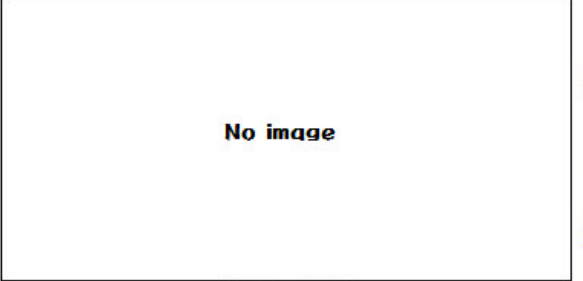
改善、再任用職員に対する単身

人事院は、今年4月における国家公務員の給与が0.27%(-1,090円)だけ民間を下回っていたとして、平均0.3%引き上げ、さらに一時金を0.15月引き上げ、夏冬あわせて4.10月とするよう勧告しました。年収に換算すると7.9万円のアップで、本俸、一時金とも7年ぶりの改善です。また、あわせて初任給の引き上げと通勤手当の若干の改善、再任用職員に対する単身

人事院は、今年4月における国家公務員の給与が0.27%(-1,090円)だけ民間を下回っていたとして、平均0.3%引き

本俸0.3%、ボーナス0.15月UP

人事院は、景気回復で大手を中心に民間企業の賃金水準が回復したことや、労働組合からの強い要求を受けて、8月7日、2014年度の国家公務員給与について、月給を平均0.3%引き上げるよう国会と内閣に勧告しました。ボーナス(期末・勤勉手当)も0.15ヵ月分引き上げるとし、いずれも7年ぶりのプラス改定となりました。一方で、民間賃金の低い地方にあわせて全体の基本給を平均2.0%引き下げ、東京など大都市部の地域手当を大幅に引き上げる「給与制度の総合的見直し」を来年度から実施するよう求めました。



去る、7月25日八甲田リゾートホテルで「労働安全衛生活動・全教共済」合同学習交流集会在開催されました。講師は産業カウンセラーの杉本正男氏で、参加者は高教組と県教組をあわせて約20名が参加しました。

杉本氏の講演は「労働安全活動の基礎・基本」と「労安法で学校が変わる・労安法で学校を変える」の2部構成でした。第一部では労働安全法はなぜできたのか、15のチェックポイント、過酷労働が及ぼす健康への悪影響と組合活動という内容でした。

～労働安全法学習会～

第二部では労働安全活動で変わった例、学校を変えていく取り組みの具体例、川口教職員組合の提言について話してくれました。学

川口市の先進的な例はすぐには活用できないにしても、労働安全法を学習し、具体的な労働安全活動をすぐにも実施していく必要があることを感じた学習会でした。そして、それを実現する具体例は非常に多くあることも知りました。今後、労働安全法の学習会は続けられます。みなさんでは是非を運んで、学習を深め一緒にこの運動を推進

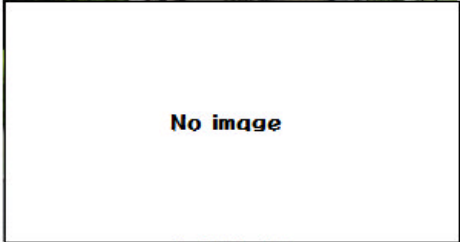
ブラック企業化する学校 あなたの学校は大丈夫？

去る、7月25日八甲田リゾートホテルで「労働安全衛生活動・全教共済」合同学習交流集会在開催されました。講師は産業カウンセラーの杉本正男氏で、参加者は高教組と県教組をあわせて約20名が参加しました。

赴任手当の支給も求めました。しかし、上のグラフでも分かる通り、公務員賃金は1998年と比較すると平均年収で72.4万円減少しています。さらに、消費税引き上げや物価の上昇によって、労働者の実質賃金は5月、6月ともに昨年よりも3.8%減少(厚生労働省毎月勤労統計調査)しており、焼け石に水の状態です。

今回の勧告では「給与制度の総合的見直し」を2017年度から3年かけて実施することが盛り込まれました。これは、人事院が安倍政権から、国および地方の総人件費削減という

「勤務時間記録簿を学校長が保管し、勤務時間の把握、超過勤務時間の是正、仕事量の適正化、年次休暇の計画的取得を促している」「週一度のノー残業デー」「割り振り変更簿の活用」「休憩室・シャワー室の設置、安全で快適な仕事環境の確保」等を掲げました。



8月4日は、最初に平和公園で各団体から託された千羽鶴を平和の子どもの像の下に納めました。その後、被災した人々の悲しみや悲鳴が聞こえてくるような原爆資料館を見学しました。世界大会の開会総会は17カ国から77名の参加を含めて、6500名の参加者がありました。

8月5日には各分科会に分かれて学習し、最終日の8月6

核なき世界をめざし行動を！ 原水爆禁止2014年世界大会

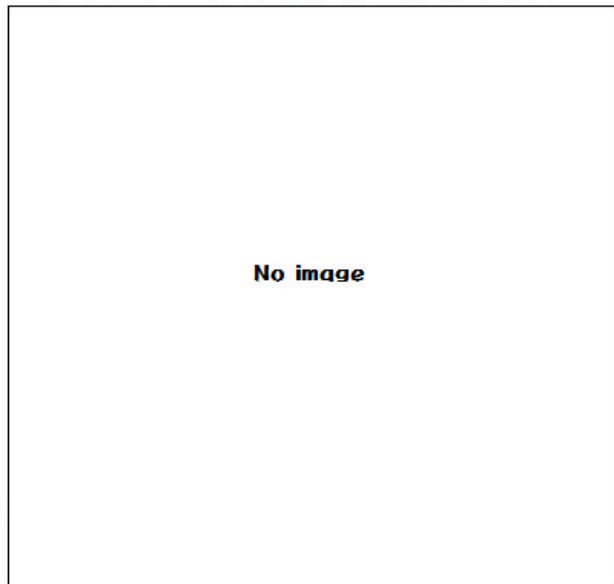
日は、朝8時から平和公園で開催された平和記念式典に出席しました。4日間雨にたたられ、移動の困難な大会でした。安倍政権の防衛政策が世界の動きと逆行していること、世界唯一の被爆国として日本のすべきことを再確認する機会となりました。これからも「核なき世界をめざし」行動をしていきたいと強く思いました。

8月4日から6日までの3日間、原水爆禁止2014世界大会が広島で開催されました。青森県からは高教組1名を含む14名の若者中心のフレッシュな代表団が参加しました。

No image

青森県代表団

電源開発が大間町に建設中の大間原発隣接地において7月20日、「第7回大間原発反対現地集会」が開催され、全国各地から過去最高の600名が参加しました。高教組からも、青森・弘前・八戸・下北からマイクバスや自家用車に分乗し、集会に参加しました。原発から30キロ圏内となる北海道函館市は今年4月に、自治体として初めて原発の建設差し止めを求める訴訟を起こしています。函



No image

大間の海を守るろう！ 大間原発反対現地集会に600人

館からは今集会に90名が参加しました。集会では「声を上げれば思いは伝わる。原発建設を断念させるまで声を上げ続け、行動を継続します」とする集会アピールを拍手で採択しました。参加者は大間原発で事故が起きた場合に放射性物質がどこまで飛ぶかを確認するため、はがきを貼りつけた風船(エコ素材)500個を飛ばした後、「大間の海を守るろう」などと訴えな

から大間町内をデモ行進しました。デモ隊に対し町民が見られました。が手をふって激励する姿も

あおり教育のつどい2014

第64次教育研究青森県集会

平和と子どもの未来 今、語ろう、

とき 11月1日(土)～2日(日)

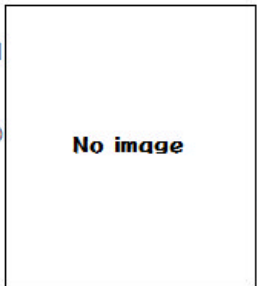
ところ 五所川原温泉ホテル

全体講演

『子どもの命を守り、地域を復興させる教育』
— 今、北方教育の価値が問われる —

制野 俊弘さん (宮城県東松島市立鳴瀬未来中学校教諭)

保健体育教師として、小さな命との対話の中で紡がれる言葉の一つ一つを子どもとともに残す。震災後、学校はどう変わったのか、未曾有の災害から立ち上がる子ども達の姿を語る。

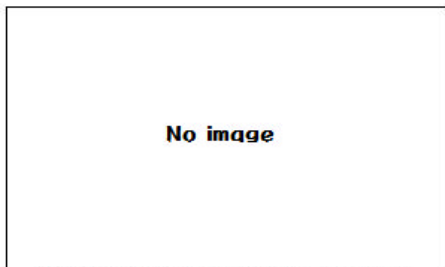


No image

- 1日(土)
- 13:00～ 開会集会
- 13:30～ 全体講演
- 15:00～ 課題別分科会
- 18:30～ 夕食懇親会
- 2日(日)
- 9:00～ 教科別分科会
- 12:15～ 全国教研打ち合わせ

組合員の純増に向けて対話の拡大を!

東青支部定期総会



対話活動の重要性を確認した東青支部定期総会

張りますから、組合加入を教員に勧めてくれませんか」と笑顔で応じているそうです。また、組合員を増やすために、4月以降、新採用者や臨時講師さんと積極的に対話を行ってという報告がありました。会議の後は、ねぶた祭のお囃子を間近に、同会場で納涼会を行いました。来年度は一人でも多くの組合員を、この会場に招こうと誓いつつ、青森の夏の間の夏を楽しみました。

8月2日(土)、青森県教育会館高教組会議室において、2014年度東青支部定期総会が行われました。前年度の経過報告と総括・会計監査報告・決算案が示された後、今年度の運動方針・予算が提案され、質疑・討論後、無事採決されました。今年度の運動方針第一案は「職場の活動を基礎に、組織の強化と拡大を進める」とし、新採用者全員と青年教職員との対話を重点目標としました。

ある組合員は、勤務校で管理職に「組合は、賃金闘争頑張れ!」と度々励まされておられ、その際は、「頑

教員採用試験一次突破をあげて!

虎の穴オープン模試

7月12日土曜日、県教育会館にて「虎の穴オープン模試」を行いました。採用試験の1次試験「教職教養」と「一般教養」の問題に塾生と一般参加の受験生のみなさんが挑みました。解答形式も今年からマークシート方式に変更になるということ、本番同様に塗りつぶして解答を記入。解答欄に記入する際にずれないよう注意しながら記入してい

ました。ちなみに、採用試験本番で今回出題された教職教養の大問が1題そのままの申しました。塾生のみなさんからは驚きと感謝の声が寄せられました。さて、夏休み明けにはいよいよ2次試験です。「虎の穴」では、9月6、7日そして13日に2次試験対策学習会を開きます。小論文、模擬授業、個人

『虎の穴Ⅷ,Ⅸ』

☆組合員限定教員採用試験対策講座

☆2次直前対策&徹底演習!



「虎の穴Ⅷ」 9月6・7日(土・日)
(13:00~17:00, 9:00~12:00)
○6日:小論文・模擬授業・個人面接・英語スピーチ
○7日:面接・模擬授業演習



「虎Ⅸ」9月13日(土)
(10:00~17:00)
○学校種別に本番同様に演習
模擬授業・個人面接

入室から退室まで、本番同様に演習します。さあ、ここで仕上げをしましょう!

○場所:どちらも青森県教育会館(青森市橋本1丁目2-25)
(問い合わせは、高教組TEL017-734-7287へ)

※青森市外からの参加者で宿泊希望者は、下記まで連絡下さい。

※参加申込み・問い合わせは下記まで。

青森県教職員組合(青森県教組)

TEL: 017-734-7279 FAX: 017-777-1440 E-mail: aomori@iaa.likooper.ne.jp

青森県高等学校・障害児学校教職員組合(青森高教組)

TEL: 017-734-7287 FAX: 017-775-4221

URL: <http://www.geocities.jp/aizakuyoso/> E-mail: aokikyo@aiive.ocn.ne.jp

No image

面接とたくさんさんの試験内容にどう取り組んだらよいのか、徹底的に学びます。みなさんの参加をお待ちしております。

真剣に直前模試に取り組む参加者

出品受付中

44th 教美展

外国・宝飾はもちろん、手製作品やデザイン類もOK! お気軽に出品ください!



会期 2014年10月17日(金)~10月19日(日)

10:00~17:30 (最終日17:00)

会場 ねぶたの家「ワ・ラッセ」(青森市安方1-1-1)

この展覧会は青森県教職員の芸術活動を支援するとともに、広く地域一般に公開し、青森県の文化発展発展に寄与することを目指して毎年開催しています。教職員はもちろん、多くの市民の方にもご鑑賞いただき、教の展覧会として定着しています。

今年度も別紙「展覧要項」のとおり教美展を開催しますので、ご案内いたします。皆さまの出品をお待ちしています。

出品申込締切 9月12日(金)

■ お申し込み・お問い合わせ ■
一般財団法人 青森県教育厚生会 総務課
〒030-0823 青森市橋本1-2-25
Tel: 017-721-1310 Fax: 017-723-2267
E-mail: souzousha-kyouiku-kouseikai.or.jp